

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	宮代町			
提案事業名	西原自然の森 福祉・芸術交流拠点化事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和3 年度	
事業の必要性、目的	平成27年度に公共施設マネジメント計画に基づく機能移転、閉館した旧ふれ愛センターの活用を図ることが必要となる一方、当町の2つの福祉作業所（生活介護、自立訓練、就労継続支援、就労移行支援）の機能強化・移転が必要となりました。当該施設のリノベーションに当たり、交流スペースを設置することで、地域住民と障がい者との交流の場の確保、また、当町外交官片桐仁氏のアート作品を常設展示することで、町外・県外者の訪問による交流人口の増加を図ります。			
成果指標	（成果を検証する指標） 交流スペース利用者			
	（成果検証の具体的な方法） 利用者のカウント			
	（上記の指標を設定した理由） 交流拠点の利用者カウントによる魅力発信状況確認が可能なため			
	（成果の目標値）			
	現状値 (H31年3月現在)	0	目標値 (R4年3月時点)	5000
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数(目標) (人)	—	稼働率(目標) (%)	—
住民への公表方法及び特記事項	町広報及びホームページにおいて施設の修繕の進捗状況を公表する。また、オープンイベントの周知を図る。			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2～3年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 社会福祉事業	ハード 旧ふれ愛センター建物を所有者（町）と利用者（社会福祉協議会）が共同でリノベーションすることで、新たな福祉施設を設けるとともに、その一部を交流スペースとすることで、障がい者と健常者の交流の場の創出が図られます。（ハード部分）	150,000
② 西原自然の森福祉・交流拠点オープンイベント事業	ソフト 西原自然の森福祉・交流拠点の完成・オープンに合わせ、オープンイベントを実施するとともに、町外交官片桐仁氏のアート作品常設展示を行う。また、作品展示については、継続的に行う。	1,500
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		151,500

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	福祉作業所及び交流スペースについて、人の導線やそこで提供するサービスなど念頭に配置を工夫することで、より良い交流の場の創出につなげる。
成果指標の達成見込み	